





CB200-ST ネットワーク組立説明書

・製作に必要な物

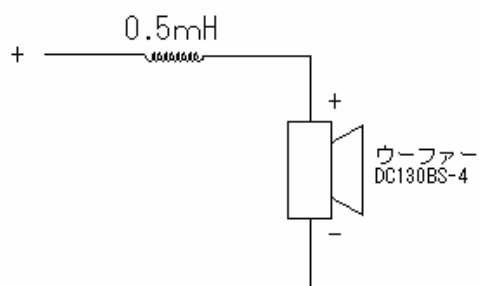
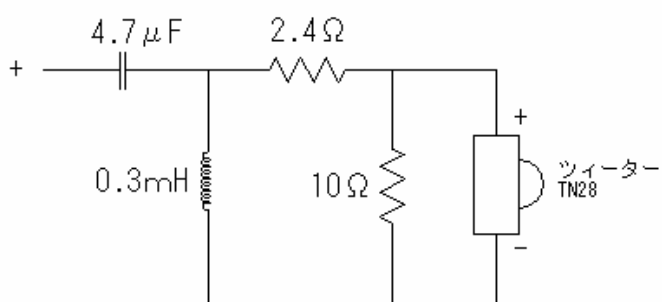
半田ごて、ハンダ、セロテープや筆記具（接続先の印付け用）、部品固定用接着剤（ゴム系接着剤または木工用ボンド）

構成部品 1ペア=2台分の部品が入っています。

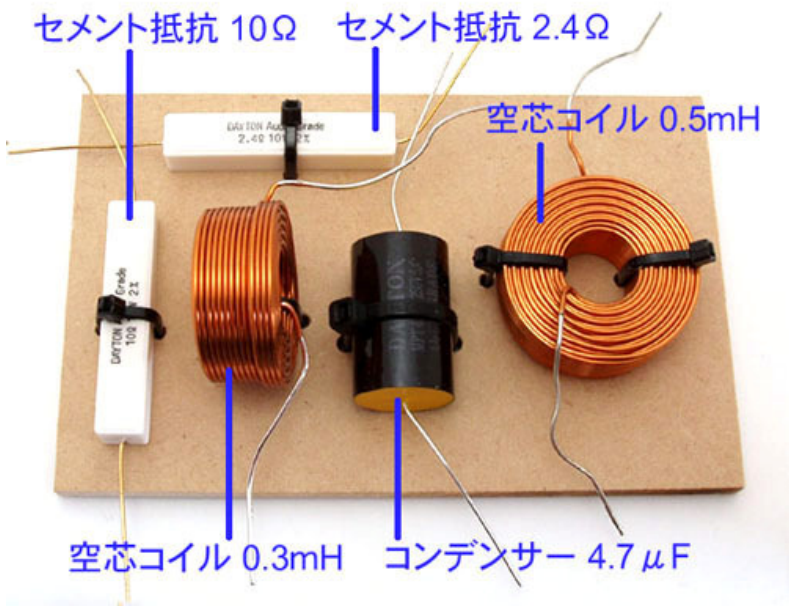
番号	部品名称	数量	外観写真
1	コイル Jantzen 18 Gauge 空 芯コイル 0.3 mH	2	
2	Jantzen 18 Gauge 空 芯コイル 0.5 mH	2	
3	Dayton ポリプ ロピレンコンデ ンサ 250VDC 4.7 μ F	2	
4	Dayton セメン ト抵抗 10W 2.4 Ω	2	

番号	部品名称	数量	外観写真
5	配線材 OFC ケーブル	1 式	
6	取付板 MDF 製	2	
7	部品取付用結束 バンド	大 4 小 8	
8	Dayton セメン ト抵抗 10W 10 Ω	2	

回路図

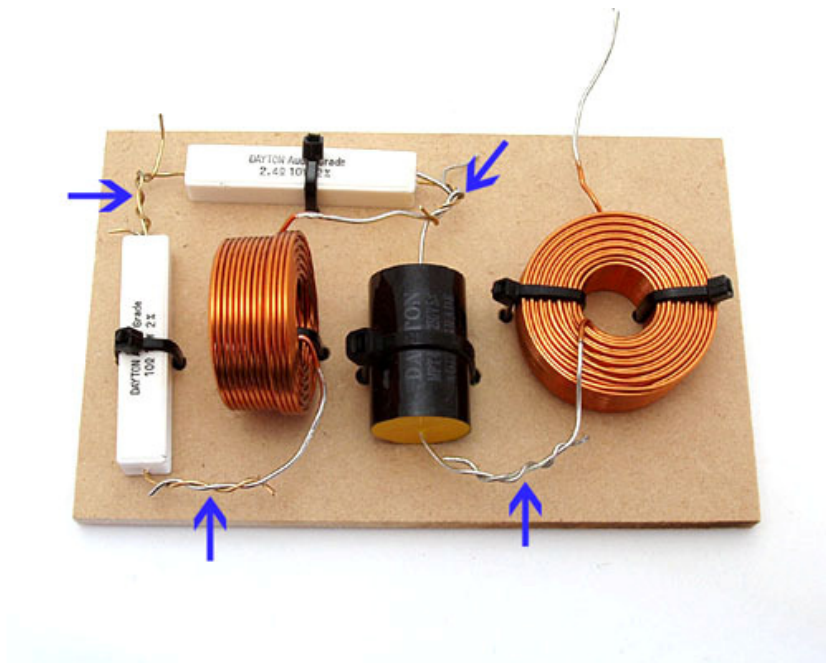
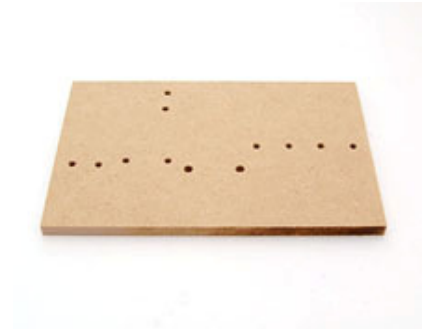


組み立て手順



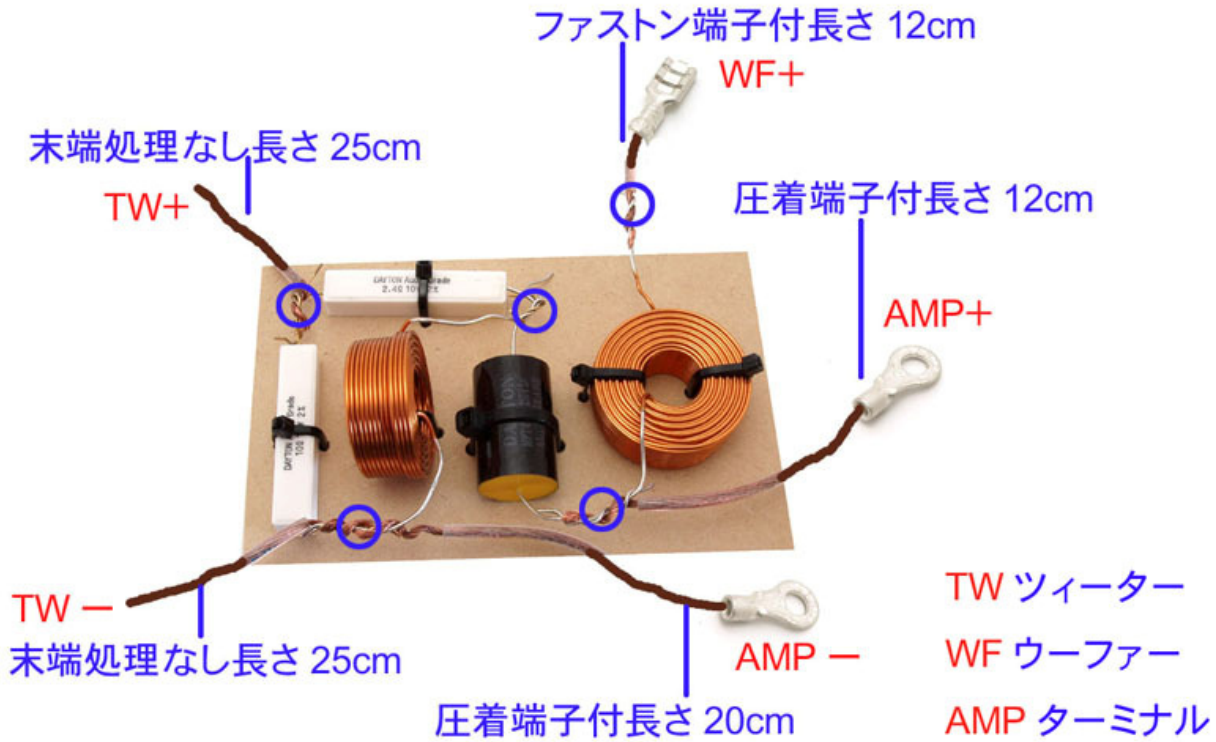
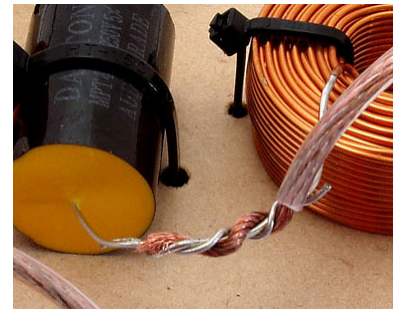
左のように各部品を置いて結束バンドで仮止めします。空芯コイルはそれぞれの中心軸が直行するような配置です。コンデンサーは大きい結束バンドで仮止めします。完全な固定はのちに接着剤で行います。

MDF 板の向きです。



左のように各部品のワイヤーを絡めます。ラジオペンチなどを使ってなるべくお互いのケーブルがすきまなく絡まるようにします。

スピーカーユニットやターミナルへのケーブルをハンダ付けします。ハンダ付けの箇所は青丸の所です。ケーブルはあらかじめカットされていて端子の付いているものもあります。被覆を2cm程度むいてからハンダ付けしてください。右の写真のようにケーブルを巻きつかせてからハンダ付けします。



ウーファーマイナス用→

それぞれのケーブルの接続先名称（上の赤文字）をケーブルの末端に記載しておきます。ビニールテープやセロテープを貼ってボールペンやマジックで記載します（右の写真参照）。

ウーファーマイナスへはターミナルのマイナスから直接結線します。上の下写真のような圧着端子とファストン端子の付いたケーブルを使います。

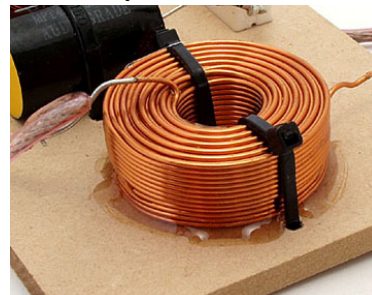
- ツィーターへ TW+ TW-
- ウーファーへ WF+ WF-
- ターミナルへ AMP+ AMP-



ハンダ付けの完了した所



ワイヤーの余分な部分をカットしておきます。



各部品を接着剤で MDF 板に固定します。ゴム系接着剤や木工用接着剤を使用します。

完成写真

